opusdei.org

属人区長のメッセージ(2023年5月25 日)

フェルナンド・オカリス師 は、私たちが全てを聖母の御 手に委ねるようにと招きま す。

2023/05/25

愛する皆さんへ。イエスが私の子ど もたちを守ってくださいますよう に! オプス・デイの私たちが世界中を巡礼で満たしたいと望んでいる今月、 私の心は深い感謝にとらわれます。 それは、マリアの御手に多くの意向 を委ねると、聖母の執り成しによっ て実りがもたらされることを信頼し ているからです。

確かに、神はこれらの実りをお望み の時、お望みの方法で与えてくださ いますが、なによりもまず、私たち に与えてくださるのです。私たちの 祈りは、たとえ弱くても、主が私た ちに贈ろうと望んでいる多くの恵み を受けることができるようにしてく れます:「求めなさい。そうすれ ば、与えられる。探しなさい。そう すれば、見つかる。門をたたきなさ い。そうすれば、開かれる」(マタ イ7・7)。私たちの巡礼において、 世界の平和、個人の回心、召命のた めの多くの恩恵を大胆に天に願いま しょう。このような態度は「私たち には神が必要である」という確信

を、私たちが深める手助けとなります。これは既に祈りの最初の実りされば「全てのことを前進を前をったります。それは「全てのことを前れらいう意識を表れてある」とが受けれたちにがあると感じるよう、私たちにだだられば聖母です。「常にないてないないないないないときはとへ戻るとないないである」(『道』495)。

イエス・キリストが私たちと分かち 合うことを望まれたこの世においるで、主は、私たちのではないで、立自身の喜びを与えれたで、で自身のたいますには世の終いいますもあたがたといいますもあったがたとないにないともないにないともは孤独ではないことも、にはないとができる望み養うことができる望み養うことができる望み養うことができる望み養うことができるいにないないないできる望み養うことができる望み養うことができる望み養うことがないた。

しょう。使徒の元后は、教会の最初 の歩みにおいて使徒たちとともにお られたように(使徒1・12-14参 照)、私たちを決してお見捨てには ならないのです。「父なる神の右に 座すため、天に昇るにあたり、師キ リストが『行って、諸国の民に教え よ』と仰せになった後、使徒たちは 心の平和を得た。とは言え、まだ、 ためらいがなくなったわけではな く、どうしたら良いのか分からな かった。そこで、使徒の元后マリア のもとに集ったのである。世に救い をもたらす〈真理〉を熱心に触れ回 る使徒となるために」(『拓』 232) .

どうか、私の祈りに一致して、先日 20日にローマで叙階を受けた属人区 の新司祭25名のために祈り続けてく ださい。

ご復活の喜びと共に、心からの愛情 を込めて皆さんを祝福します。

あなたがたのパドレ

フェルナンド

ローマ、2023年5月25日

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkucho-messeji-2023-5/(2025/11/19)